

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	19094	地域生活交通再編事業	室名	商工業振興室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	10:公共交通機関の整備	款	07:商工費
	施策の方向	03:身近な交通手段の確保	項	01:商工費
戦略プロジェクト	-	目	01:商工総務費	
事業予定期間	H 19 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	道路運送法	

② 目的・概要	対象	自家用車に乗車(同乗)するなど、自立した移動手段を持たない者
	目的	自立した移動手段を持たない者などの移動手段の確保や社会参加の促進をはじめ、市内公共施設等への公共交通アクセスの確保、交流促進による市中心部の活性化等に資する。
概要	現行の広域廃止代替路線(2路線)及びコミュニティ系路線(6路線)を継続運行させる中で、亀山市地域公共交通計画に基づき、市内バス路線の再編を進め、バス等による効率的・効果的な地域公共交通の仕組みづくりを図る。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	計画額	事業費	118,500千円	115,000千円
		国庫支出金		
	県支出金			
	地方債			
	その他	7,600千円	7,900千円	
	一般財源	110,900千円	107,100千円	
	予算額	事業費	113,683千円	112,683千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
その他		7,817千円	8,500千円	
一般財源	105,866千円	104,183千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		233,500千円	期間外事業費(H29以降)② -	総事業費 (①+②) -

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	再編路線数		
	補足	再編を行った路線数(再編前の路線数)の累計	2	2
②	名称	再編路線の利用者数		
	補足	再編を行った路線の利用者の増加人数(平成25年度比)	1,500	6,200
③	名称			
	補足			
④	名称			
	補足			

事務事業評価シート

H28(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	19094	地域生活交通再編事業	室名	商工業振興室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計
	基本施策	10:公共交通機関の整備	務	款
体系	施策の方向	03:身近な交通手段の確保	科	項
	戦略プロジェクト	-	目	目
				01:商工総務費

②目的・概要	対象	自家用車に乗車(同乗)するなど、自立した移動手段を持たない者
	目的	自立した移動手段を持たない者などの移動手段の確保や社会参加の促進をはじめ、市内公共施設等への公共交通アクセスの確保、交流促進による市中心部の活性化等に資する。
概要	現行の広域廃止代替路線(2路線)及びコミュニティ系路線(6路線)を継続運行させる中で、亀山市地域公共交通計画に基づき、市内バス路線の再編を進め、バス等による効率的・効果的な地域公共交通の仕組みづくりを図る。	

			27年度	28年度
①	名称	再編路線数	計画値	2
	補足	再編を行った路線数(再編前の路線数)の累計	実績値	1
			単位	路線
②	名称	再編路線の利用者数	計画値	1500
	補足	再編を行った路線の利用者の増加人数(平成25年度比)	実績値	-1139
			単位	人
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
<広域廃止代替路線> ・2路線(亀山みずほ台線・亀山棕本線)の運行 <コミュニティ系路線> ・6路線(さわやか号、野登・白川ルート(事前予約制施設送迎サービスを含む)、再編後の東部ルート、再編後の南部ルート、西部Aルート、加太福祉バス)の運行 ・未再編路線の運行計画(案)の作成と地域協議 ・亀山市地域公共交通会議の開催等				<広域廃止代替路線> ・2路線(亀山みずほ台線・亀山棕本線)の運行 <コミュニティ系路線> ・6路線(さわやか号、野登・白川ルート(事前予約制施設送迎サービスを含む)、東部ルート、南部ルート、西部Aルート、加太福祉バス)の運行 ・1路線(南部ルート)の路線再編 ・西部Aルートエリアの再編に向け、関係地域協議を実施し、西部Aルート再編案を作成 ・現亀山市地域公共交通計画の検証と新計画骨子案作成 ・亀山市地域公共交通会議の開催等				
事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	8,788	平均給与額×③
	国庫支出金		0			一般職員人件費 ②	8,788	
	県支出金		0			所要人員 ③	1.20	
	地方債		0			臨時職員人件費 ④	0	
	その他	7,600	8,500	7,806	受益者負担額 ⑤		⑤ / ⑥	
	一般財源	107,400	104,183	103,654	受益者負担率	0.0%		
	再掲	翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額		0					
	総人件費		①	8,788				
	総コスト		⑥	120,248				

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	・既存バス路線の運行事業を継続し、移動困難者の日常生活における移動性の確保に努めることができた。 ・平成25年度から協議を続けてきた南部ルートエリアの再編が完了した。 ・現行の西部Aルートエリアの再編に向け、関係地域と具体的な運行内容について協議を行い、西部Aルート再編案を作成し、関係まち協から同意を得た。 ・現亀山市地域公共交通計画の検証及び新計画の骨子案を作成した。	B まずまず進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】
	現交通計画は、平成28年度末で計画期間終了となるが、単年度の計画については、順調に進んだものの、コミュニティ系バスの再編の遅れ等により、解消できなかった公共交通の課題は、依然として多く存在する。さらに、今後、高齢の運転免許証返納者が増加すると考えられることから、バス路線等の再編だけではなく、市民の移動需要に効率よく対応できる新たな交通手段が求められており、当市に係る全ての地域公共交通が一体となって機能する公共交通ネットワークの形成を図る必要がある。
	【改善の方向性】
	平成29年10月に新たな亀山市地域公共交通計画を策定し、現行の広域廃止代替路線(2路線)及びコミュニティ系路線(6路線)を継続運行させる中で、新計画に基づき、バス等による効率的・効果的な運行および新たな交通手法(乗合タクシー事業)を展開し、当市に係る全ての地域公共交通が一体となって機能する公共交通ネットワークの形成を図る。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 商工業振興室長 富田 真左哉
--------------	---------	-------------------------